作成日 : 2014 年 7 月 3 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: オレート®液剤
会社名	: OATアグリオ株式会社
住所	: 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階
担当部署	: 品質保証部
電話	: 088(684)0220
FAX	: 088(686)7055
緊急連絡先電話番号	: 03(5283)0262（事業推進部）
整理番号（SDS No.）	: OAT0075-5

3. 危険有害性の要約

物理化学的危険性

引火性液体	区分 3

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分 1B
発がん性	区分外
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（肝臓）、区分 2（神経）

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分 2

＊上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示

注意喚起語	危険	
危険有害性情報	引火性液体および蒸気	H226
	眼刺激	H320
	遺伝性疾患のおそれ	H340
	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	H360
	長期にわたるまたは反復ばく露による肝臓の障害	H372
	長期にわたるまたは反復ばく露による神経の障害のおそれ	H373
	水生生物に毒性	H401

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。（P201）
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。（P202）
熱／火花／裸火／高温のもののような者火源から遠ざけること。−禁煙。（P210）
容器を密閉すること。（P233）
容器を接地すること。（P240）
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。（P241）

火災を発生しない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断／手当を受けること。(P308+P313)
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。(P314)
眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)

【保管】
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。(P501)

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別　: 混合物
化学名(又は一般名)　: 殺虫殺菌剤(オレイン酸ナトリウム液剤)

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
オレイン酸ナトリウム(有効成分)	20	143-19-1	(2)-611	(2)-611
エタノール	≦10	64-17-5	(2)-202	(2)-202
有機溶剤、水等	残量	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合
空気の清浄な場所に移動させる。
横にさせて安静にさせる。
呼吸困難を訴える場合には酸素を吸入させる。
また、呼吸が停止している場合には直ちに人工呼吸を行う。
必要があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合
衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石鹸を用いて充分に洗浄する。
刺激等の異常が認められる場合には医師の診断を受ける。
汚れた衣類は再使用の前に洗濯しておく。

目に入った場合
直ちに流水にて 15 分間以上の洗眼を行う。
刺激や発赤等の異常が認められる場合には眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合
直ちに水で口腔内を洗浄する。
多量に飲み込んだ場合にはコップ 1～2 杯の水を飲ませる。
医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤
水、二酸化炭素、泡消火剤、砂

火災時の特定危険有害性

本品を含む火災時には、一酸化炭素等の有毒なガスが発生する可能性がある。
また、加熱された容器は破裂するおそれがある。

特定の消火方法

周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全に行える場合に限り火災場所から搬出する。
移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

消火を行う者の保護

火災の状況に応じた適切な保護具を着用し、風上の安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して、風上で行う。
屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

環境に対する注意事項

河川等に排出されないように注意する。

除去方法

可能であれば直ちに漏洩源を止める。
少量の場合には布等で拭き取る。
大量の場合には盛土で囲って漏洩規模の拡大を防ぐ。速やかに着火源を取り除く。
砂やおがくず等の不活性な吸収剤に吸着させ、密閉可能な容器に回収する。
回収作業後に漏洩箇所を大量の水で洗浄する。
洗浄液は活性汚泥処理を行ってから排水する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

暴露防止の為に必ず適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して取り扱う。
蒸気やミストの吸入、皮膚や眼への接触、及び経口摂取は避ける。
本品が付着した衣類等は再使用の前に必ず洗濯する。
作業中は換気を適切に行う。火気厳禁。
作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。
的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

保管

消防法に定めるところに従う。
直射日光を避け、換気の良い場所に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

作業場の換気を行うとともに、局所排気装置を設置する。
作業場に安全シャワー及び洗眼器を設置する。

管理濃度および許容濃度

化学名又は一般名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ACGIH
オレイン酸ナトリウム	-	-	-
エタノール	-	-	TWA -, STEL 1000 ppm

保護具

呼吸器用の保護具 : 防毒マスクまたは空気呼吸器
手の保護具 : ゴム手袋
目の保護具 : 保護ゴーグル
皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 液体
色 : 淡黄色澄明
臭い : 石鹸臭

pH	: 9.8
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	: データなし
融点/凝固点	: データなし
分解温度	: データなし
引火点	: 47.5℃（タグ密閉式）
発火点	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重/密度	: 0.997g/mL
溶解性	
水に対する溶解性	: 水と任意の割合で混和する
オクタノール／水分配係数（log Pow）	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件においては安定。

反応性

知見なし。

避けるべき条件

高温

避けるべき材料

酸との接触混合は危険。

危険有害な分解生成物

燃焼時には一酸化炭素等の有害なガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD_{50} : >5000 mg/kg（♂♀ラット及びマウス）

経皮 LD_{50} : >2000 mg/kg（♂♀ラット）

皮膚腐食性・刺激性

軽度の刺激性（ウサギ）

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

中等度の刺激性（ウサギ）

感作性

皮膚感作性 : 陰性（モルモット）

生殖細胞変異原性

区分 1B に分類されるエタノールをカットオフ値以上含有するため区分 1B とした。

発がん性

発がん性なし（ラット）

生殖毒性

区分 1A に分類されるエタノールをカットオフ値以上含有するため区分 1A とした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

カットオフ値以上含有するエタノールの分類により区分 1（肝臓）および区分 2（神経）とした。

12. 環境影響情報

生態毒性

LC_{50}（96 時間） : 180 mg/L（コイ）

EC_{50}（48 時間） : 53 mg/L（オオミジンコ）

ErC_{50}(72 時間) : 4.7 mg/L（緑藻）

13. 廃棄上の注意

おがくず等に吸収させて、焼却炉にて焼却する。焼却は保険衛生上危害を生じるおそれがない場所で少量ずつ行う。知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 1993-その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
クラス : 3
容器等級 : III

輸送の特定の安全対策及び条件

本品の輸送は適用される法令に従って行う。
容器に漏れ等のないこと及び近傍に火気のないことを確認して積載する。容器の破損等を防ぐため、乱雑な取扱いを行わない。収納口を上方に向けて積載し、荷崩れ防止を行う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 18249 号
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	危険物・引火性の物 4 の 3 エタノール 名称等を通知すべき危険物及び有害物 61 エタノール
化学物質管理促進法（PRTR）	非該当
消防法	第四類 第二石油類 水溶性液体
船舶安全法	引火性液体類
化審法	優先評価化学物質を含む
航空法	引火性液体

16. その他の情報

連絡先

製品に関する問い合わせ先：コールセンター0120-210-928
中毒に関する緊急問い合わせ先：公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 （情報提供料：無料）	医療機関専用有料電話 （情報提供料：1 件 2000 円）
大阪 （365 日、24 時間対応）	072-727-2499	072-726-9923
つくば （365 日、9～21 時対応）	029-852-9999	029-851-9999

参考

OAT アグリオ株式会社保有データ
MSDSnavi（日本ケミカルデータベース株式会社、2014）

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。
この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。